

# 平成26年度 学校評価アンケート集計結果について

栃木県立今市工業高等学校

本校では、より良い学校づくりのために、次の重点目標を設定し、様々な教育活動に取り組んできました。

- (1) 基本的な生活習慣を身につけ、高校生らしいマナーを身につける。
- (2) 学習に意欲的に取り組み、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。
- (3) 部活動、資格試験、“ものづくり”等に積極的に取り組む。

取り組みの成果と課題を明確にするための自己評価として、アンケートを実施しました。この度、その結果がまとまりましたのでご報告いたします。

## 1 実施日

平成26年11月25日(火)～12月5日(金)

## 2 内容

実施しましたアンケートは、生徒アンケート、保護者アンケート、職員による自己評価です。生徒、保護者アンケートは、学校運営に係る幾つかの質問事項に対し無記名で回答するようにしました。

そのアンケートをもとに、今年度の重点目標について、学校自己評価（本校職員）を、A（良い）B（おおむね良い）C（少し努力不足）D（努力不足）の評価基準で実施しました。

## 3 集計結果より

(1) 基本的な生活習慣を身につけ、高校生らしいマナーを身につける。

保護者の設問5で、69.5%（1年78.2%、2年生66.9%、3年生63.3%）が今工生の頭髪・服装・態度はきちんとしていると「思う」「ある程思う」と答えている。「あまり思わない」「思わない」は、13.7%（1年14.4%、2年生12.1%、3年生14.7%）であった。

職員設問1で100.0%が基本的な生活習慣を身につけ、高校生らしいマナーを身につけさせるよう「指導している」「ある程度指導している」と答えている。職員設問6で、生徒の頭髪・服装・態度について「指導している」「ある程度指導している」のは、98.0%であった。

ほとんど全ての職員が基本的な生活習慣や容姿・態度の指導に積極的に取り組んでいるが、まだ14%の保護者が「今工生の頭髪・服装・態度はきちんとしている」ということには否定的である。

また、生徒の設問20で、積極的に清掃活動に参加し、学校の美化に「協力している」「ある程度協力している」と答えた生徒は、69.6%（1年81.9%、2年生66.3%、3年生60.7%）である。

学校自己評価
--------

B
---

## (2) 学習に意欲的に取り組み、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。

職員設問2で、96.0%が学習に意欲的に取り組ませ、基礎的・基本的な知識と技能を習得させるよう「指導している」「ある程度指導している」と答えている。

生徒設問10で「レポートやノート」を「まとめている」「ある程度まとめている」と答えた生徒は、79.6%（1年生94.4%、2年生73.2%、3年生71.3%）である。「無答」を除いては、ほとんどの生徒が「ノートやレポート」をしっかりまとめている。生徒設問11で、基本的な四則計算について「できる」「ある程度できる」と答えた生徒は、79.0%（1年生91.9%、2年生73.2%、3年生72.0%）である。

しかしながら、保護者設問7で、家庭での生徒の学習状況は「積極的に勉強している」、「ある程度勉強している」と答えているのは、30.2%（1年生34.4%、2年生24.2%、3年生32.0%）であり、家庭との協力の下、家庭学習を充実させる指導が必要である。

また、学習意欲を高め、進路につなげるという点では、職員設問5で、将来のことについて家族で話し合うよう生徒・保護者に「呼びかけている」「ある程度呼びかけている」のは、82.0%であった。

保護者設問3で、将来のことについて家族で「話し合う」「ある程度話し合う」は、71.4%（1年生82.5%、2年生62.4%、3年生69.4%）である。生徒設問12で進路実現に向け、目標を持って勉学に「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と答えているのは、60.8%（1年生71.9%、2年生50.4%、3年生60.0%）である。いずれも1年生の割合が高く、家庭で話し合うことで進路や勉強に対する目的意識が高まる効果をもたらしている。職員側も家庭での話し合いを促し、進路実現に向け、目標を持った勉学への取り組みをするような働きかけを行っていく必要がある。

学校自己評価	B
--------	---

## (3) 部活動、資格試験、“ものづくり”等に積極的に取り組む。

職員設問3で92.0%が部活動、資格試験“ものづくり”等に積極的に取り組むよう「指導している」、「ある程度指導している」と答えている。生徒設問13で資格試験やコンテストに積極的に「挑戦している」、「ある程度挑戦している」のは、53.3%（1年生67.5%、2年生47.8%、3年生44.6%）である。保護者の自由記述において、「資格試験や“ものづくり”に積極的に取り組んで欲しい」という要望もあり、より充実した指導の強化を図りたい。

生徒設問14で部活動に「参加している」と答えているのは84.0%（1年生95.7%、2年生78.4%、3年生78.0%）である。H26年度の部活動加入率は67.2%なので、本校は16.8ポイント上回っている。今後も部活動の活性化のため、体制や環境づくり、指導の強化を図りたい。

生徒設問15で学校行事に積極的に「参加している」「ある程度参加している」と答えたのは、75.4%（1年生88.8%、2年生69.4%、3年生68.0%）である。さらに積極的な活動を促すため学校行事の魅力ある企画と円滑な運営に取り組んでいきたい。

学校自己評価	A
--------	---

学校全体に関しては、教員の指導体制と生徒・保護者の意見が大きく離れる項目は少ないが、自由記述の意見などを参考に以下の点にまとめておきたい。

## 1 学習指導について

7月に行った学習アンケートで、生徒が授業に対して望むことについての意見は「現在のままで良い」が45.7%で最も多く、次いで「もっとわかりやすく教えて欲しい」が31.6%であった。

学校評価アンケートの設問16で、授業に問題があると感じた授業の2学期以降の改善については、37.8%の生徒が「解決された・ある程度解決された」と答え、28.6%の生徒が「改善していない・あまり改善していない」と答えた。職員設問7では86.0%の職員が改善に「努力した・ある程度努力した」と答えた。

学習アンケートで、生徒の授業態度について「どの授業も真剣に受けている・おおむね真剣に受けている」生徒が61.0%で、授業にあまり真剣に取り組んでない生徒が39.0%もいた。学校評価アンケートの自由記述でも「授業中騒がしく、迷惑である」という意見や、授業について「もっとわかりやすく教えて欲しい」という声もあった。よりわかりやすい授業を目指し、資質の向上に励んでいきたい。

## 2 生徒指導について

本年度も交通事故が数件あり、保護者の方から「登下校時の自転車のマナーが悪く、危険である」という意見や、近隣の方からも自転車マナーに関する注意を度々いただいた。自転車のマナー、交通ルールの遵守、公共交通機関利用時のマナーなど交通指導をさらに強化しなければならない。

頭髪・服装指導の面では、「頭髪・服装が乱れている」というご意見をいただいた。きちんとさせて欲しいという意見のほかに「頭髪服装検査が厳しい」や「頭髪・服装の基準が時代遅れである」という意見もあった。

教職員の共通理解を図りながら、学校生活の秩序を守っていきたい。様々な意見、批評等を真摯に受け止め、地域社会から評価される学校として、生徒指導の充実を追求していかなければならない。

平成26年度学校評価アンケートの回収率は、全体で84.4%(1学年95.6%、2学年79.0%、3学年78.5%)という結果で(未提出72名、生徒数466名/H27.1.1現在)、これは、昨年の86.1%に比べ、全体で1.7%下回る結果となった。回収率を上げるために、実施の在り方の検討や、学校教育目標、重点目標等を周知し、学校教育目標、重点目標等を踏まえたアンケートの設問など、今後の学校評価の実施の在り方を改善していく必要がある。

学校自己評価
--------

B
---

「生徒の相談や問題に親身になって対応していただき感謝している。」や「資格試験や進路に関して真剣に取り組んでもらい感謝している。」という声をいただいた。学習指導、生徒指導、進路指導の面での取り組みが地域社会に評価され、生徒の進路実現へつながるよう、より一層、教職員が丸となって指導の充実を図っていきたい。